



．．．新磯地区．．．

新磯地区は、水田地帯が広がるなど、緑が多く、豊かな自然に恵まれている地区です。江戸時代から伝わる「相模の大凧まつり」や、長さ約1,400メートルと日本一の長さを誇る「芝ざくらライン」を生かしたまつりなどの文化・観光行事には、県内外から多くの見学者が訪れています。

新磯地区優秀賞



【撮影者】坂上 和正

【タイトル】故里の川 - 夕暮れ

【撮影場所】三段の滝付近

【コメント】12月が近づくと、お日様と大山が仲良くなります。大山が光の中にきらめき、光芒が相模川を貫き、川辺の樹々を赤く、黄色く染め上げます。その中を悠々と輝いて流れる相模川。相模原の大河、相模川の全景を少しでも写せたらと願っています。

審査員寸評

相模川の夕景ですが、色を創り出す3原色の内のひとつ黄色を強調することで、暖かな夕刻の時間が創り出されました。また画面構成も的確で中央部分に配置した橋が画面を引き締めています。

【撮影者】加藤 昌位

【タイトル】新戸の稲干し～大山に抱かれて～

【撮影場所】新戸河原バス停付近

【コメント】毎年、稲刈りが始まると、「秋」の訪れを感じます。いつまでもこの光景が残りますように。



「第8回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】佐藤 康子

【タイトル】長松寺の六地藏

【撮影場所】長松寺

【コメント】晩秋の昼下がり、境内の銀杏紅葉も美しかったです。門前の六地藏の優しく微笑む姿が心安らぎ、力を込めて撮りました。

【撮影者】漆山 晃輔

【タイトル】菊薫る秋

【撮影場所】磯部 勝坂

【コメント】令和初の菊まつりで晴天に恵まれ、満開の花に秋の訪れを楽しませていただきました。

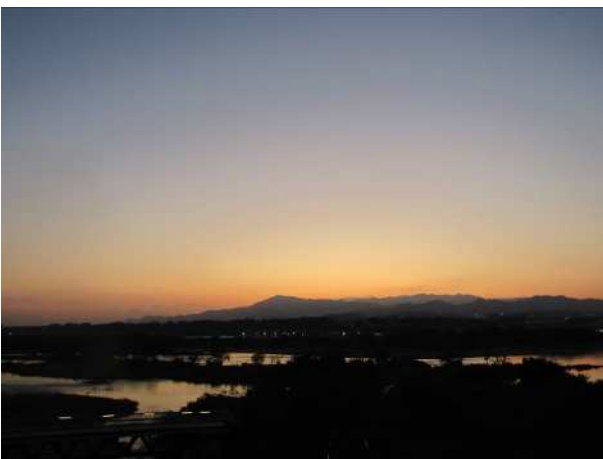


【撮影者】石渡 健太郎

【タイトル】相模川の夕景

【撮影場所】三段の滝展望広場

【コメント】この写真は初めてこの場所を訪れたときに撮影しました。しかし、この一回で、私はこの夕景にどっぷりと、はまってしまいました。まさにイチ押しです！ただ景色が良いだけでなく、長い時間楽しむことができるのもこの場所の魅力です。太陽が山に隠れる少し前から、日没後のしばらくの間は短時間でも様々な姿の景色を眺めることができます。ぜひ、これを機に訪れてみてはどうでしょうか。



「第8回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】長谷川 栄一

【タイトル】新磯のざる菊展

【撮影場所】ざる菊花見会会場

【コメント】磯部のざる菊を見に行った時の風景です。いろいろな色のざる菊があり、秋の晴れた空とざる菊が季節を感じさせてくれました。のんびりとした時間を味わうことができました。



【撮影者】田所 治雄

【タイトル】大凧と飛行機

【撮影場所】相模の大凧まつり会場

【コメント】日本一の相模の大凧、飛行機が下から高く上がったことを祝福しています。

【撮影者】小杉 貴美子

【タイトル】初秋の空

【撮影場所】相模川河川敷

【コメント】初秋の良く晴れた日、相模川左岸の堤防にある芝ざくらラインで芝ざくらの苗植えが行われた。土手に登り、ファインダー越しにあたりを覗くと相模川沿いの田園地帯の豊かな自然が青空に映えて美しかった。この自然を大切にしたいと思った。



「第8回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】小杉 貴美子

【タイトル】大切にしたいね！！

【撮影場所】新戸スポーツ広場

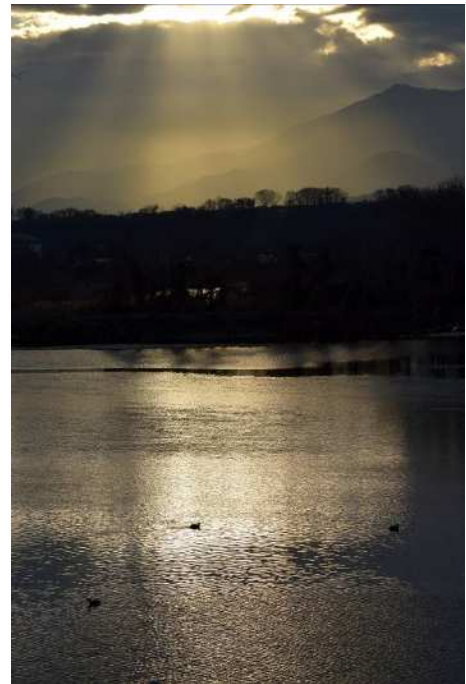
【コメント】相模川新磯河川敷にある新戸スポーツ広場の、グラウンド入口の少し高くなった所にポツンと立っていた看板。目立つようで目立たない存在。暑い日も寒い日もしっかり立って役目を果たしているのだろう。今までありがとう、これからもよろしくと思いシャッターを切った。

【撮影者】石井 敬一郎

【タイトル】相模川夕景

【撮影場所】相模川河畔（磯部付近）

【コメント】相模川の夕暮れは、わずかに赤みを帯びた冬の日射しに照らされて、明暗の対比が美しかった。遠景の山々は雲間からの光を受け、まるで墨絵か日本画のような穏やかな表情を見せていた。冬の午後のほんのひと時だけに見られる光と影のファンタジーに魅せられ、その美しさを表現した。



【撮影者】石井 敬一郎

【タイトル】家路

【撮影場所】相模川河畔（磯部付近）

【コメント】たそがれ時の水面は細波に光が漂うようで、その明暗の縞模様が印象的だ。気が付くとカモの夫婦だろうか、二羽の水鳥が連れ立って明暗の縞模様の中を泳ぐさまが目にとまった。あたかも「家路を急ぐ」といった風情であった。「そうだ! 数年前までは、私もこんな風に毎日家路を急いだなあ」と、ちょっとだけ感傷に浸り、カモの家路を撮りとめた。



「第8回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】榎本 茂

【タイトル】春霞

【撮影場所】新磯小学校横の田んぼ

【コメント】相模川土手の桜が満開になり、遠くに連なる山の峰々が霞がかったような風景が幻想的である。



【撮影者】榎本 茂

【タイトル】春の相模線

【撮影場所】相武台下駅そばの踏切

【コメント】桜並木は新磯の観光スポットともいえます。レンゲ畑から見る相模線と桜はとても美しい光景でした。

【撮影者】吉富 明德

【タイトル】錦秋の寺域

【撮影場所】常福寺

【コメント】燃えるような美しい紅葉の世界を創り出した新戸の古刹「常福寺」の寺域、春は桜そして初秋は萩と四季の彩り、移ろいを感じさせてくれるとっておきの場所。



「第8回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】吉富 明德

【タイトル】相模川の「カワウ」の大群

【撮影場所】磯部頭首工

【コメント】母なる川「相模川」、磯部地区に造られた県下最大の「磯部頭首工」の眺望もさることながら、魚道もあり近くに設置された「テトラポット」で時折多くのサギやカワウが休息し、捕食にする姿を見ることができるお薦めのバードスポット。

【撮影者】坂上 和正

【タイトル】故里の川 - 落日

【撮影場所】相模川遊歩道

【コメント】お日様が大山の山頂に触れたかと思うと、光芒を走らせながら山の背後に消えていきます。何枚か撮りましたが、初めは大山の山頂が光の中に消えてしまい、終りは川面が暗くなり過ぎ。大山の山頂が見え、川面に残照が残るこの1枚を選びました。



【撮影者】島田 正幸

【タイトル】一瞬の輝き

【撮影場所】峰山霊園

【コメント】峰山霊園の彼岸花も年々広がりを感じている。今年も新しく苗を植えたので、来年はもっと見応えのある真っ赤な花園にお目にかかる事が出来そうだ。この写真は朝の光が差す前にカメラをセットして置いた。光が一瞬花を明るく輝かせた所でシャッターを切った一枚です。





【撮影者】島田 正幸

【タイトル】秋の桂並木

【撮影場所】峰山霊園

【コメント】霊園の桂の木はいち早く紅葉し、また早々と葉を落としてしまう。その様なわけでなかなか写真を撮る機会を逃してしまっていた。この日も最盛期は少し過ぎていたが意を決して雨上がりの早朝出かけて撮影した。光がまだ回っていないときでしたので、明暗の差が大きくどうかと思いながらの一枚です。



【撮影者】和泉 勝雄

【タイトル】令和の大凧

【撮影場所】相模の大凧まつり新磯会場

【コメント】5月4日、今日は朝から天気が良く楽しみに会場に行きました。2回、3回と凧揚げの用意をしましたが、八間凧を上げる風が弱い。3時頃まで居りましたが、揚がりませんでした。残念でしたが、また来年楽しみにしております。

【撮影者】和泉 勝雄

【タイトル】天まで揚れ

【撮影場所】相模の大凧まつり新磯会場

【コメント】今日は天気が良く大凧の揚るのを楽しみにしていましたが、なかなか揚らないので連凧の揚るのを観ていました。すると年配の男性の方が肉眼では数えきれないほどの連凧を揚げていました。お見事でした。



「第8回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮 影 者】納谷 フサ子

【タイトル】閉校

【撮影場所】神奈川県立相模原青陵高等学校

【コメント】散歩道にある学校が春の花咲く頃、閉校となる。朝夕に若者の登校姿が見られなくなる。少子化でしかたないが淋しさを感じます。